

取組① 授業改善の充実

- ・ 単元の特性に合わせた、T2による指導(個別支援あるいはファシリテート)重点の設定
 - ・ 校内研修との統合を意識した授業改善
- ⇒明確な課題設定の提示、本時の目標の定着度の確認、子供が自ら考えるための問いの投げかけ、子供のつぶやきを拾い、つなげる等の指導
- ・ 学年共通の掲示資料(お助けパネル)や学習プリントの作成



T1・T2の
明確な
役割分担

T2による
授業内
個別指導



取組③ 補習体制や家庭・地域との連携

- ・ 近隣大学生ボランティアによる授業中の個別支援
- ・ 本校卒業生ボランティアによる夏季休業中のサマースタディの実施

取組② 授業外の取組の充実

- ・ すくすくタイム等の時間を活用したH小チャレンジプリントの取組
- ⇒学習に対する主体性・基礎学力・自己肯定感の向上、賞状伝達等児童同士が互いを認め合う場の設定
- ・ 休み時間等の補習タイム実施

取組④ 課題がある児童等の実態把握

- ・ 全国学力・学習状況調査の全職員による問題分析
 - ・ 県学力・学習状況調査の活用
- ⇒結果分析、学力向上プランの作成、調査データ活用事業についての研修会(特に非認知能力・学習方略)、昨年度4・5・6年担任による取組の発表、児童理解、学習状況の傾向共有化

非認知能力・学習方略分析

5年生		非認知能力		学習方略	
性別	学年	自己肯定感	学習意欲	学習方略	学習習慣
男	1	3.0	3.0	4.0	3.5
女	1	3.5	3.5	4.0	3.5
男	2	3.5	3.5	4.0	3.5
女	2	3.5	3.5	4.0	3.5
男	3	3.5	3.5	4.0	3.5
女	3	3.5	3.5	4.0	3.5
男	4	3.5	3.5	4.0	3.5
女	4	3.5	3.5	4.0	3.5
男	5	3.5	3.5	4.0	3.5
女	5	3.5	3.5	4.0	3.5
男	6	3.5	3.5	4.0	3.5
女	6	3.5	3.5	4.0	3.5

読解力と他の学力との相関

